

<国際社会学科国際社会専攻>（認定課程：中一種免（社会）、高一種免（地理歴史））

（1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<p>【教職像を豊かでリアルなものとするセクション】</p> <p>「教職論」を通し、①教職の内容や役割、教師の使命や職責について理解できること。 ②教職の醍醐味やその抱えている課題について認識すること。 ③教職に関する法令等の理解を通し、その服務について認識すること。</p>
	後期	<p>【教育内容の系統と構造、発達・学習理論を把握するセクション】</p> <p>「教育課程論」を通し、教育課程の変遷および枠組み、教育課程を編成する方法原理を把握する。「教育と心理」では、発達理論、学習理論などの心理学研究を概観することによって、発達心理学・教育心理学に対する基本的な知識を身につけること。</p>
2年次	前期	<p>【教育と人間、生徒理解の基本原則を認識するセクション】</p> <p>「教育と人間」を通して、人間にとっての「教育」の意味について考察できること。 「生徒指導論」「教育相談論」では、生徒理解を深め、生徒指導の方法を理解する。 「介護等体験」を通し、個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深める。</p>
	後期	<p>【学校教育の制度および教育実践の基本的枠組みや技法を習得するセクション】</p> <p>「教育と社会」を通して、教育小六法の内容を理解するなかで教育制度について認識し、教育問題を読み解く力を獲得すること。「教育方法・技術」では、教育実践の技法（教育評価や情報機器の操作法を含む）や問題への対処法を習得する。</p>
3年次	前期	<p>【基礎的な授業構想力を身につけるセクション】</p> <p>教科「教育法」、「道德教育の研究」（中免）を通して、学習指導要領に規定されている内容を理解したうえで学習指導案を作成し、模擬授業や授業検討を行うことによって授業を具体的に計画し、実践できる力を身につけること。 「学校フィールド学習」（選択）を通して、学校現場を把握し、学習支援を行なう。</p>
	後期	<p>【教育実践に必要な基礎力を身につけるセクション】</p> <p>「共生の教育」や「特別活動・学級経営論」、「教育実習事前事後指導」における授業参観等を通して、教育実践に必要な力が何かを理解し、学級経営や保護者との連携・協力の基礎を理解できること。</p>
4年次	前期	<p>【教職に必要な実践力を身につけるセクション】</p> <p>中等の「教育実習」を通して、①観察実習、教壇実習を行うことによって専門とする教科の授業づくりの方法を学ぶこと。②教師と生徒との関係性や生徒理解に努めること。 ③教職に関する法令遵守や適性・態度など実践的な教育力を理解し身につけること。</p>
	後期	<p>【教職に必要な資質・能力を補充するセクション】</p> <p>「教職実践演習」の時間を通して、大学での学びと「教育実習」等の教育現場における実践的な体験な学びを振り返ることによって、自分に不足している教員として必要な資質・能力を発見し、補充することによって教育実践力をバランスよく身につけること。</p>